



**神戸祭りをピカピカに**  
 グループわの傘下で、結成されたばかりの「神戸ぴかぴか隊」が、神戸まつり（5月15日）に初出勤。在校生も交えた64人が、会場の清掃や案内役、花舞台に出演した銭太鼓の応援に活躍しました。好天に恵まれ、パレードが行われるフラワーロード帯は多くの人出で大混雑。ゴミもあふれるほどでしたが、「楽しく仲良く」清掃ボランティアに汗を流し、さわやかな1日を過ごしてきました。（取材・大垣幸次）



**野鳥を求めて100人**  
 あつ、ヒバリが飛んでる！ アオサギがいた！ 花曇りの4月24日、しあわせの村でバードウォッチング大会が開かれ、初めて来たという小学生や常連の夫婦ら約100人が参加。双眼鏡やカメラを手に、朝10時から2時間かけて堂坊池をめぐるコースを散策しました。「ほら、カワセミが池の上に...」。野鳥の会スタッフの説明を聞きながら、「いた、いた。わあ、きれい」などと、歓声をあげていました。正午前には芝生広場に戻って、報告会。なんと32種類もの野鳥が確認されたそうです。（円内、カイツブリの写真は堀池邦康さん提供）



**森林浴を楽しむ**  
 わ 主催の森林浴ウォーキングが6月15日、新神戸駅一布引貯水池一市が原一諏訪山公園のコースで行われ18人が参加。六甲の初夏を満喫しました。小鳥のさえずり、カジカの鳴き声、あざやかな新緑、咲き乱れる卯の花を楽しみながら、修法が原で昼食、大龍寺ではポケ防止の願をかけて下山。したたる汗をぬぐいながら、参加者は満足そうでした。（取材・納村裕子）

**トピックス**



**大忙し有馬ガイド**  
 観光シーズンで大忙しの「有馬観光ガイドボランティア」を5月21日に訪ねてみました。姫路工大生が来るよ」との情報で駆けつけたのですが、ヤングは見当たらず、0Bの殿方ばかりでちょっと残念。でも、有馬の泉質やメンテナンスの大切さを解説する横山忠明さんの名ガイドぶりには感心しました。垂水からやって来た車椅子のグループ約20人を案内していたのは岩槻正義さん。金の湯から極楽寺をぬけるコースは高低差60mもあり車椅子での走行は大変ですが、ベッド暮らしの人や、付き添いの家族にはどんなにか楽しい一日だったことでしょうね。（広報・宮里寿子）